

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
地歴公民	N 日 本 史	3	3	文系GA	1、2、3、4

教科書	詳説日本史（山川出版社）	副教材	最新日本史図表（第一学習社）
			時代と流れで覚える！日本史B用語（文英堂）

科目の目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力をそなえることを目指す。</p>
-------	--

科目の概要	<p>我が国の歴史の展開について、中世から近世にかけて学び、世界史的な視野に立ち、我が国の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の相互の関連などを考察する活動を通して、現代日本の形成の歴史的過程に対する十分な理解と認識をもつ。</p>
-------	--

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、⑥「受信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「行動力」、⑨「自己管理能力」、⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題 ・プレゼンテーション ・授業中の活動や議論の様子	・課題への取り組み方 ・自主的な学習や探究活動 ・授業中の活動や議論の様子

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第7章 武家社会の成長 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場 第8章 近世の幕開け 1. 織豊政権 【1学期 中間試験】 5月20日～23日	自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを考察し、表現する。また、戦国大名による領国統治の特色を諸資料から考察し、都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現する。さらに、織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて考察し、表現する。
	第8章 近世の幕開け 1. 織豊政権 2. 桃山文化 第9章 幕藩体制の成立と展開 1. 幕藩体制の成立 【1学期 期末試験】 7月1日～5日	豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触について、特色と意義、その後の時代への影響を多面的・多角的に考察し、表現する。また、桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を読み取り、考察し、表現する。さらに、織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現する。
2 学 期	第9章 幕藩体制の成立と展開 2. 幕藩社会の構造 3. 幕政の安定 4. 経済の発展 5. 元禄文化 【2学期 中間試験】 10月15日～18日	新たな支配制度のもとにおける人々の生活の様子について、根拠を示して表現する。また、戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識や文化がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現する。さらに、近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現する。
	第10章 幕藩体制の動揺 【2学期 期末試験】 12月2日～6日	商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現する。また、国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。さらに、近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現する。
3 学 期	 【3学期 学年末試験】 3月4日～8日	